a journal

NAGOYAKINEMA NEU

ナゴヤキネマ・ノイ

9 2026 月号

〒464-0850
名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F
Tel.052-734-7467
https://nk-neu.com

9 月の定休日
不定休
9/1・8・15・29

毎月発行

RESERVATION

■各作品の 10 日前から上映 1 時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

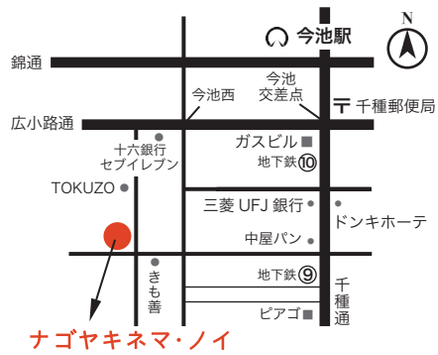
■現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10 日前から当日までの窓口受付 (座席指定) をご利用ください。

PLATFORM

公式サイト　公式 Facebook　公式 X @nkn_2024　公式 Instagram @nkn_2024

上映スケジュール表は２面をご覧ください

ACCESS



▶ 地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩３分
▶ 今池スタービル２F (契約駐車場なし)

8.22 (土) ～ 9.11 (金)　アフガニスタン、これがわたしの声

《2 作品 / 入替》





●アフタートーク : 8/30(日)②にて
ゲスト : ファヒマさん (アフガニスタン退避者)、
神田すみれさん (通訳・支援者)、
聞き手 / 山本恵子さん (ジャーナリスト)

①ハワの手習い
(ナジーバ・ヌーリ、ラスール" アリー"・ヌーリ
2024 年 85 分)

②撃たれた自由の声を撮れ
(ザイナブ・エンテザール　2024 年 70 分)



8.29 (土) ～ 9.11 (金)
『また会えるよね』ギヨーム・ブラック監督特集

《6 プロ / 入替》

①●リンダとイリナ　(2023年　38分)
　●また会えるよね　(2024年　64分)
②●遭難者　(2009年　25分)
　●女っ気なし　(2011年　58分)
③やさしい人　(2013年 100分)
④●勇者たちの休息　(2016年　38分)
　●7月の物語　(2017年　71分)
⑤宝島　(2018年　97分)
⑥みんなのヴァカンス (2020年 100分)



9.5 (土) ～ 25 (金)『軍服を着た神様』

監督 : 遠藤協　旅人 : 藤野陽平 / 文化人類学者　(2025 年 107 分)
●舞台挨拶 : 9/5(土) 遠藤監督



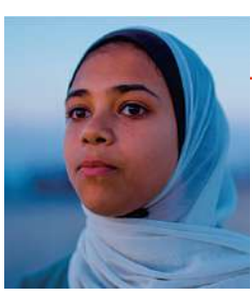
9.5 (土) ～ 25 (金)　パフォーマンス・アート : 身体と空間をめぐる映画祭





●アフタートーク: 9/6(日) ①にて
ゲスト: 唐津絵理さん
(愛知県芸術劇場 芸術監督・常務理事)

①カニングハム　(アラ・コフガン　2019年 93分)
②ブレイキング・ザ・フレーム
(マリエル・ニトスラウスカ　2012年 101分)
③ある日、ピナは尋ねた・・・
(シャンタル・アケルマン　1983年 58分)
ピンク・シュレンマー
(オリバー・フサイン　2025年 12分)
④ナム・ジュン・パイク 月は最古のTV
(アマンダ・キム　2023年 110分)



9.12 (土) ～ 18 (金)
〈ガザからの声〉一挙上映

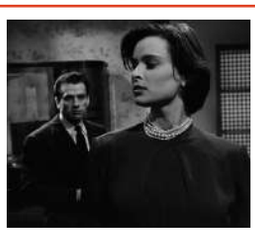
《3 作品 / 日替》

①アハマドの物語　(2025年 50分)
②ミュージシャン・アハマドの物語
(2025年 64分)
③9月のアル・ラシード通り
(2026年 67分)
※監督:ムハンマド・サウワーフ
※①～③は各エピソードが異なる作品です。

9.12 (土) ～ ミケランジェロ・アントニオーニ　レトロスペクティヴ
愛の不毛、彷徨える魂

《5 作品・入替》





①愛と殺意
(1950年 103分　4K修復版)
②敗北者たち
(1953年 114分　2K修復版)
③女ともだち
(1955年 106分　2K修復版)
④情事
(1960年 144分　4K修復版)
⑤赤い砂漠
(1964年 117分　4K修復版)

9.19 (土) ～『メレディス・モンク　踊る声、歌う身体 (からだ)』

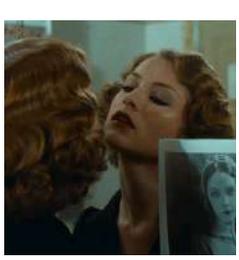
監督:ビリー・シェバー、デヴィッド・C・ロバーツ　(2025年 95分)



9.26 (土) ～『タイガー・ストライプス』

監督 : アマンダ・ネル・ユー　(2023 年 95 分)







9.26 (土) ～
クロード・シャブロル傑作選 vol.2

《3 作品・入替》

①ヴィオレット・ノジエール
(1978年 124分 日本初公開)
②ベティ　(1992年 103分 日本初公開)
③沈黙の女　(1995年 111分)

上映作品提供 : 東風、エタンチェ、三叉路フィルム、トレノバ、アップリンク、ザジフィルムズ、ユーロスペース、JIGGY FILMS、マーメイドフィルム、コピアポア・フィルム

９月上映スケジュール表

※9/1・8・15・29（火）は休館です。
※9/22（火・祝）は開館いたします。

9/5(土) ～ 11(金)

	9/5(土)	6(日)	7(月)	9(水)	10(木)	11(金)
11:00	①『ハワの手習い』	②『撃たれた自由の声を撮れ』	①『ハワの手習い』	②『撃たれた自由の声を撮れ』	①『ハワの手習い』	②『撃たれた自由の声を撮れ』
12:40	『軍服を着た神様』					
15:10	③ある日、ピナは尋ねた	①カニングハム+アフタートーク	②ブレイキング・ザ・フレーム	③ある日、ピナは尋ねた	①カニングハム	④ナム・ジュン・パイク
16・17時台	16:40④ナム・ジュン・パイク	17:50③ある日、ピナは	17:20①カニングハム	16:50④ナム・ジュン・パイク	17:10②ブレイキング・ザ	17:20③ある日、ピナは
19:20	ギヨーム・ブラック ①『また会えるよね』『リンダとイリナ』					

9/12(土) ～ 18(金)

	9/12(土)	13(日)	14(月)	16(水)	17(木)	18(金)
11:00	③９月のアル・ラシード通り	③９月のアル・ラシード通り	①アハマドの物語	②ミュージシャン・アハマド	③９月のアル・ラシード通り	③９月のアル・ラシード通り
12:20	④情事	①愛と殺意	③女ともだち	⑤赤い砂漠	②敗北者たち	④情事
14・15時台	15:00⑤赤い砂漠	14:30②敗北者たち	14:30④情事	14:40①愛と殺意	14:40③女ともだち	15:00⑤赤い砂漠
17:20	①カニングハム	③ある日、ピナは尋ねた	②ブレイキング・ザ・フレーム	③ある日、ピナは尋ねた	④ナム・ジュン・パイク	①カニングハム
19:30	『軍服を着た神様』					

9/19(土) ～ 25(金)

	9/19(土)	20(日)	21(月・祝)	22(火・祝)	23(水・祝)	24(木)	25(金)
10:30	『軍服を着た神様』						
12:40	①愛と殺意	③女ともだち	⑤赤い砂漠	②敗北者たち	④情事	①愛と殺意	③女ともだち
14・15時台	14:45②敗北者たち	14:50④情事	15:00①愛と殺意	15:00③女ともだち	15:20⑤赤い砂漠	14:45②敗北者たち	14:50④情事
17:30	『メレディス・モンク　踊る声、歌う身体（からだ）』						
19:20	②ブレイキング・ザ	③ある日、ピナは	④ナム・ジュン・パイク	③ある日、ピナは	④ナム・ジュン・パイク	①カニングハム	③ある日、ピナは

9/26(土) ～ 10/2(金)

	9/26(土)	27(日)	28(月)	30(水)	10/1(木)	2(金)
10:30	『タイガー・ストライプス』					
12:20	③沈黙の女	②ベティ	①ヴィオレット・ノジエール	③沈黙の女	②ベティ	①ヴィオレット・ノジエール
14時台	14:30①ヴィオレット	14:30③沈黙の女	14:45②ベティ	14:30①ヴィオレット	14:30③沈黙の女	14:45②ベティ
16:50	『メレディス・モンク　踊る声、歌う身体（からだ）』					
18:45	④情事	⑤赤い砂漠	①愛と殺意	②敗北者たち	③女ともだち	⑤赤い砂漠

ご入場料金・入替制

一般 1800 円　大学生・会員 1400 円　高校生以下 1000 円　シニア（60 歳以上）1300 円
障がい者・会員（シニア・学生）1100 円　ペア割（2 名）2800 円
○会員サービスディ：木曜日　会員・障がい者 1000 円・会員 1 名とのペア（2 名）2000 円
○ファーストディ　一般 1200 円　会員・障がい者 1000 円

〈ギヨーム・ブラック監督特集〉
※①は上記通常料金です。
※②～⑥は以下の料金です。
一般 1500 円　シニア・大学生・会員・ペア 1300 円　シニア＆学生会員・障がい者 1100 円
高校生以下 1000 円※木曜は、会員・障がい者 1000 円。

〈ガザからの声〉
※③『９月のアル・ラシード通り』は上記通常料金です。
※①と②は以下の料金です。
一般 1500 円　シニア・大学生・会員・ペア 1300 円　シニア＆学生会員・障がい者 1100 円
高校生以下 1000 円

会員募集

お申込日から１年有効で 2000 円。
会員特典は当日ご料金の割引きのみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

『ハワの手習い』『撃たれた自由の声を撮れ』

２作品 / 入替

2021 年のアフガニスタンからの米軍撤退後、タリバンの勢力拡大に伴って、何が起きていったのかをアフガニスタン現地の視点から描く秀作ドキュメンタリー２作品を連続上映。**『ハワの手習い』**は、高齢の夫に代わり、商才を生かして家族を支えるために困難をのりこえようとする母親ハワの姿を娘からの視点で描く（85 分）。**『撃たれた自由の声を撮れ』**は、タリバンの統制が進む中、女性の権利の確保を訴えるデモを続ける女性たちの苦難の日々を描く。危険を承知の上で行動する勇気、記録する勇気に敬服する（70 分）。

『また会えるよね』ギヨーム・ブラック監督特集

６プロ / 入替

現代フランス映画界の真珠と呼びたいギヨーム・ブラック。今年も晩夏と共に最新作が届きました！**『また会えるよね』**(64 分) は、傑作**『みんなのヴァカンス』**(100 分) と同じドローム県のリセの寄宿生活最後の夏を静と動を操る見事な編集で綴る余韻豊かな傑作です。この二作の撮影監督のアラン・ギシャウアは濱口竜介監督『急に具合が悪くなる』も務めています。対となる中編**『リンダとイリナ』**(38 分) との二本立てでお楽しみください。特集は、ドキュメンタリー形式で夏を遊び尽くす**『宝島』**(97 分)、珠玉の**『遭難者』**(25 分)**『女っ気なし』**(58 分)**『7 月の物語』**(撮影 :A・ギシャウア 71 分)、俳優ヴァンサン・マケーニュとジャック・ロジエの名俳優ベルナール・メネズ共演の**『やさしい人』**(100 分) ほか長・中・短編を合わせて一挙公開いたします。

『軍服を着た神様』

台湾には日本人（主に軍人）を神様として祀った廟が50以上もある。文化人類学者藤野陽平の言葉に誘われて、彼の地を訪れた記録映画作家遠藤協（『鹿の国』配給も担当）は、カメラとともに各地を訪ね歩き、歴史的経緯や風習、そしてその「神々」の存在と人々の関係を少しずつ理解していく。本作はその旅路の記録だ。植民地時代の記憶も残り、東アジアの土俗的な感触は日本と重なるものもありながら、感覚そのものがまるで異なる事柄も少なくない珍道中は、驚きと発見の連続。そのアメージングな世界を体感していただきたい一篇。（107分）

パフォーマンス・アート：身体と空間をめぐる映画祭

4プロ / 入替

身体を核にしながら、文学、演劇、音楽、建築、詩、映画などの表現媒体を横断し、現代美術においてエネルギッシュな進化をとげてきたパフォーマンス・アートの先駆者たちについてのドキュメンタリー映画祭。**『カニングハム』**(93分)はダンスの革命家マース・カニングハムがジョン・ケージ、ロバート・ラウシェンバーグ、ウォーホルと協労で築いたカンパニーの歴史と新たなる再演を現代の技術で記録する珠玉の作品。**『ブレイキング・ザ・フレーム』**(101分)は、現代の身体芸術やジェンダー表現に多大な影響を与えたキャロリー・シュニーマンの世界を実験的アプローチで描く。コンテンポラリー・ダンスの巨匠ピナ・バウシュのヴッパタール舞踊団のツアーに同行したシャンタル・アケルマン監督の**『ある日、ピナは尋ねた…』**(58分)、近年発見されたバウハウスの前衛作家オスカー・シュレンマーによる舞台空間と身体を思索する映像作品をモチーフに、赤く退色したフィルムを示してもいる**『ビンク・シュレンマー』**(12分)。ビデオ・アートの開祖、パイクの激動の生涯をたどり、ケージ、ヨーゼフ・ボイスそしてフルクサスなどのムーブメントにも触れる**『ナム・ジュン・パイク 月は最古の TV』**(110分)のテーマ音楽は坂本龍一。

ガザからの声　一挙上映『９月のアル・ラシード通り』

3作品 / 日替

ガザの映像制作会社と日本とで進められている映像プロジェクト「ガザからの声」。昨年10月の停戦合意前の9月に避難民で埋め尽くされた地中海沿いのアル・ラシード通りを記録する新しいルポルタージュ(EP.3)と、名古屋未公開のEP.1とEP.2も一挙公開します。（74分）

ミケランジェロ・アントニオーニ レトロスペクティヴ 愛の不毛、彷徨える魂

5作品 / 入替

一貫して愛の不毛を描き続けた、イタリアの巨匠アントニオーニ。同時代だけでなく、現在に至るまでその影響は計り知れない。

初長編**『愛と殺意』**(103分)は、上流階級の夫婦の行き違いをシャープに描く。**『敗北者たち』**(114分)はパリ、ローマ、ロンドンで若者たちが引き起こす犯罪を描くオムニバス群像劇。**『女ともだち』**(106分)は自殺未遂事件を機に知り合う、トリノの女性たちの仕事、友情、恋愛模様！代表作**『情事』**(144分)は失なわれたヴァカンス的非日常性にモニカ・ヴィッティの魅力炸裂。交通事故のショックから立ち直れない女（またもM・ヴィッティ！）の不安が強烈なカラー映像の心象風景と重なる**『赤い砂漠』**(117分)。アントニオーニの魅力に溺れる大特集！

『メレディス・モンク 踊る声、歌う身体』

ニューヨークのロフトで亀の”ニュートロン”と暮らす、三つ編みがトレードマークのメレディス・モンク。撮影時は83歳。現在も作曲家、歌手、演出家、振付家、インスタレーションを手がけるアーティストとして活躍し、ジャンルを超越した表現を追求し続ける。ビョークは彼女のファンであり、デヴィッド・バーン、フィリップ・グラス、ブライアン・イーノや坂本龍一、ダムタイプらにも影響を与えた。芸術表現のパイオニアの軌跡をたどるドキュメンタリー(95分)。

『タイガー・ストライプス』

マレーシアに息づく神話や民話をモチーフに、少女の目覚めと解放を幻想的かつ力強く描き出した、アマンダ・ネル・ユー監督の鮮烈な長編デビュー作であり、思春期に身体が変化する不安を抱え、友人から孤立する少女の身体が文字通りの異変をきたす寓話的ボディ・ホラー。カンヌ国際映画祭批評家週間グランプリ受賞作。アカデミー賞国際長編映画賞マレーシア代表作。（95分）

next arts 通信

体感！しだみ古墳群ミュージアム

名古屋市内守山区の上志段味には、66基もの古墳が確認されているという。そのうちの7基が「志段味古墳群」として国の史跡に指定されたのが2014年。名古屋市はその一帯を「歴史の里 しだみ古墳群」として整備、2019年には「体感！しだみ古墳群ミュージアム」が開館した。ここは古墳群からの出土品を展示する博物館施設というだけでなく、実際に古墳群を散策しながら見て回るガイダンス施設なのだ。

施設名に「体感！」とついているのも珍しいが、埴輪や勾玉、管玉づくりのワークショップや古墳時代を体感できるプログラム、そして手で触ることのできる展示が多いのも特徴だ。「ＳＨＩＤＡＭＵ（しだみゅー）」の愛称に、マスコットキャラクターは「しだみこちゃん」と付き人の「埴輪氏武（はにわうじたける）」。子どもから大人・家族連れまで、楽しく学ぶことが意図されている。

特に目をひいたのは「志段味大塚古墳」。5世紀後半に築かれた帆立貝式古墳で、出土した武器や武具、馬具や鏡などからは、かなり有力な首長級の人物が葬られていたとのこと。さまざまな形の埴輪の複製品を並べて復元された古墳は、頂からの見晴らしも良く、まさにその規模が「体感！」できた。

【トトち】

無知の知

（その１６）熊本地震に想う

７月２８日に起きた熊本地震（マグニチュード7.1）は、改めてこの国が地震大国である事を自覚させた。熊本では１０年前の４月にもM7.2の大地震が起き、やっと復興が終わり人々の暮らしが元に戻ったばかりだった。1昨年、熊本を訪れた際には新しく建てたばかりの家屋があちこちにあり、道路も整備されていた。その熊本で再び地震が・・・。この猛暑の日々の中で被災者の皆様のご健康を祈るしかない。そして近い将来私達に迫る「南海トラフ地震」に思いをはせる。南海トラフ地震は前回から80年が経過しており、今後２～30年以内に来ると予想されている。最大震度M8～9、死者数万～数十万人と想定されている。何よりも、想定震源域の真上に中部電力浜岡原発がある事が恐ろしい。地震と津波と放射能の被害は15年前の福島原発事故をもたらした東南海地震をはるかに超える。想定される最大地震動を誤魔化し、再稼働をしようとした中部電力の無謀を許してはならない。

(MK)

クロード・シャブロル傑作選 vol.2

3作品 / 入替

ヌーヴェルバーグの重要作家シャブロルの傑作選第2弾。1933年に両親を毒殺し、恩赦後はシュルレアリストたちのミューズとなった実在の少女の魔性を、キャリア初期のイザベル・ユペールが完璧に演じカンヌで女優賞を受賞した**『ヴィオレット・ノジエール』**(124分)は、丁寧に描写される大戦間のパリの庶民生活も見どころ。J・シムノン原作で、政界に巣食うブルジョワジー一族から退廃的な夜の社会へ流れていく繊細な女性（マリー・トランティニャン）を、大胆なカットバックとスピード感溢れる語り口で描く傑作**『ベティ』**(103分)。初公開の前2作に加えてのリバイバル作品は、一代貴族を授与されたミステリー作家ルース・レンデル「ロウフィールド館の惨劇」が原作の**『沈黙の女』**(111分)。裕福な夫婦（ジャクリーヌ・ビセット、ジャン＝ピエール・カッセル）の邸宅で家事を担うソフィー（サンドリーヌ・ボネール/本作でヴェネチア最優秀女優賞受賞）の孤独と秘密が、挑発的な友人（Ｉ・ユペール）と一家の娘（ヴィルジニー・ルドワイヤン）の善意によって露見し、破壊的な暴力性を募らせていく…豪華な出演者そして監督自身も脂ののりきった不朽の名作だ。

あいまい、まいにち、こんにちは

７月下旬から猛暑日が続いている、夏はいつから外を歩くのが危険なほど暑くなってしまったのだろうか。しかし劇場や飲食店に入ると、冷房がガンガンに効いていて寒くて震えることもある。冷房が直撃する席は特に寒いので、羽織り物は必ず持って行く。

７月から８月の夏休みシーズンは、学生劇団の公演が多く上演される。劇団バッカスの水族館は、この８月の公演が、第100回目の公演となるそうだ。代替わりを重ねていき、作風はその世代ごとに変化があるが、１つの劇団が100回の公演を積み重ねるのは本当にすごいことだと思う。卒団生の中には、現在も名古屋の小劇場演劇で活躍している方が数多くいる。今後のさらなる継続と発展を願っている。

また、８月に３週間のロングラン公演に挑戦している若手劇団があった。名古屋でロングラン公演は珍しく、大胆なチャレンジだ。SNSで作品の感想を見つけ興味を持っても、その時にはすでに公演が終了しているという経験をしたことがあるが、ロングラン公演の場合はそういった機会損失が減る。また、本番を重ねることで作品のブラッシュアップもできる。予算面などのリスクはあるが、それでも挑戦に踏み出せる若さと劇団の力に拍手を送りたい。

私が学生劇団に所属していたのはもう何十年も前で、その劇団は残念ながら今はもう存在しない。それだけに、今も後輩たちが活動を続けている劇団を見ると、少しうらやましい。世代が変わっても舞台への情熱が受け継がれていくことを願っている。

（i）

ウニタ書店情報（052-731-1380）

４０度を超える酷暑日が続くという異常な事態が各地で起きている。地球温暖化が原因であることは確かだが、今や気候変動を通りこし、気候崩壊と言ってよい状況になりつつある。更に地球規模で旱魃・森林火災・豪雨が頻発しており、食糧生産や経済活動にも大きな影響を及ぼし始めている。大量生産・消費の時代は遠い過去のものとなり、限られた資源や富を奪いあう時代の到来が危惧されている。

2020年に「人新世の『資本論』」で、地球環境問題と後期マルクス思想を結び付け、脱成長コミュニズムを提唱した斎藤幸平氏が、それをアップデートしたとする新著「人新世の『黙示録』」を上梓した。

今日の世界はグーグルやアマゾン等のＧＡＦＡＭが支配するテクノ資本主義に変質し、富のほとんどを独占し、格差と分断が加速度的に拡大しているとし、こうした現実を変える方途を探っている。それは、新自由主義により商品化されてしまった公共財（コモン）を市民の側に取り戻し、更に拡大する民主的社会主義だとしている。ただ、移行期には強制力を持つ「エコロジー独裁」が必要だとし、そうした社会システムの質的転換が唯一残されている「ラディカルな希望」＝「暗黒社会主義」だと結んでいる。刺激的な論考ではあるが、旧社会主義国と同じ轍を踏まない保証は詳らかでなく、さまざまな議論を呼び起こしそうである。

いなかのじけん

ヒグラシの暮らし

やっぱりだ。セミは梅雨明け宣言と共に鳴き始めた。鳴かぬうちに宣言出た年などは、しばらくしてから大雨が降ったりする。その年は、セミの本能に気象庁は負けたわけだ。

夜の蝶と言われる蛾が、朝早く飛び交ったりするように、ヒグラシは朝４時半頃鳴き始める。うるさくて目が覚める。20分位で静かになり、こちらも静かにまた眠る。ヒグラシは日暮れにも鳴く。以前は夕方こちらも４時半頃だったのが、昨今の暑さで７時近くにしか鳴かない。あるいはまったく鳴かない。彼らも命がけということでしょう。

「しずかさや　岩にしみいる　蝉の声」と詠まれましたが、あれはどうやらニイニイゼミらしい。ヒグラシの声はカナカナカナとも、ヒヒヒヒとも、どうにもよく解らない。メロディーになっていない。ヒグラシの声の周波数分布はきわめて特徴的で、2.1kHzの倍音がピークになる櫛状の分布をしている、という。2.1kHz、4.2kHz、6.3kHz、8.4kHz、10.5kHz…。人間の耳では振動数が２倍になると、１オクターブ上がる。つまり2.1、4.2、8.4…は同じドだけれど、6.3、10.5…は和音になっている。分かりやすくするためにＡ＝2.1kHzとすると、Ａ，２Ａ，３Ａ，４Ａ，５Ａ，６Ａ，７Ａ，８Ａ…の振動数にピークがある。ここでＡの音をドとすると、Ａ，２Ａ，４Ａ，８Ａがドという事になる。4Aを基準のドとして考えてみると、ピタゴラスの自然音階では５Ａ＝５／４×４Ａはミ、６Ａ＝３／２×４Ａはソ、7Aに至っては７／４×4Aで1.75×4Aとなりラとラ#の間の音になる。和音なのでヒグラシの声は何とも文字には表しようがない。

ナゴヤキネマ・ノイ

NAGOYA KINEMA NEU 協力店

みその皮膚科医院

Misono Dermatology Clinic

［ 院内処方 / 保険診療 ］

診療時間
午前 10 時～13 時・午後 15 時～20 時
毎週土曜・日曜・祝日休診

地下鉄伏見駅10番出口より徒歩2分

052-232-2214

http://www.misonohifu.com/

BAR パーキン

（円頓寺 Les piliers 併設）

演劇、映画、アート、音楽をつまみに

名古屋市西区那古野一丁目18-2
090-1620-4591（加藤）
国際センター駅②出口から徒歩5分
丸の内駅⑧出口から徒歩8分

不定休

詳細はツイッター@perkypat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC

Takuzoは朝までやってる呑み屋である。

052-733-3709
年中無休 pm6:00～am5:00
シネマテークより北、広小路通へ抜ける手前の青いビル 2F

open house Analog Recordと Restaurant Bar

052-753-4300
火曜定休 pm6:00～am1:00
シネマテークより東、環状線に抜けた角、中屋パン地下 1F

JAZZ MATILDA DRINK & FOOD



●気軽に入れる小さなお店です
●お一人様大歓迎。 ●日・月曜定休 ●席料¥500
●オーダー¥300～ ●営業時間19:00～24:00

名古屋市中区栄三丁目9番22号グランドビル5F

☎052-263-6272

パンクをしたら DAISY

052-228-0977

急ぎの荷物も当日お届け！
自転車便・自転車出張修理

デイジーメッセンジャー

名古屋市中区新栄 2-2-19

Hair Salon VARIÉTÉ

WEB: http://variete.hp4u.jp

ヘアサロン バリエテ

営業時間
平日11:00～21:00 土日祝10:00～19:00

定休日
月曜・第3月火曜連休

千種区池下1-6-20 ☎751-7774
（チサンマンション池下203号）1Fに「ドゥリエール」のあるビル

---

bookshop & gallery ON READING

感じる、考えるひとのための本屋

www.onreading.jp

on_reading

地下鉄東山公園駅２番出口より徒歩１分

おかげさまで19周年 女性専門

からだほぐし＆足つぼ

みずたま



10:00-20:00
火曜・第1/3水曜休
本山駅6番出口すぐ
052-781-8239

アリガト



髪切って、凛とする。

〒464-0074
千種区仲田2-18-23
052-761-7723

SHIMAUMA BOOKS シマウマ書房

ナゴヤキネマ・ノイから東へ
徒歩５分。古本屋です。

名古屋市千種区今池 5-14-3
11:00－18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

アンティーク・リサイクル着物&カフェ らんまる 蘭丸で



ウール400円～、正絹小紋2500円～
名古屋帯2500円～、半幅帯300円～
小物やオリジナル商品もございます。

キネマ・ノイより、南へ徒歩2分

052-735-6053
p.m.1:00～7:00 / 火曜・水曜定休
名古屋市千種区今池3-2-9ママビルディング1階

骨董・古書・美術品 こまれび 鑑定・買取



昭和区桜山
☎052-853-1961

静寂の珈琲店 読書珈琲リチル



地下鉄今池駅徒歩1分

愛知県産 農薬・化学肥料ゼロ栽培



まずは、お試し野菜セットから
お申込みはホームページ / お電話で
tel 052-851-7200
くらしを耕す会 検索

天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん 鞠奴パン食堂



●営業日／木・金曜日 am11時半～pm4時
緑区鳴海町鉾の木31-2 TEL080(4301)3102
鍼灸「ハリのむしろ」も併設

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法 帰来堂 鍼灸療院

地下鉄池下駅1番出口すぐ

9:30-18:30（最終受付） 不定休
052-752-7817（予約制）kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEビル202

おもしろ楽し 三味線教室

無料体験しませんか

清元美哉廣（きよもと みやひろ）

090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
桜山駅近く

星屑珈琲

群れない魂の止まり木



静かな夜型喫茶

ナゴヤキネマ・ノイから168歩

本と酒 ANZAI COVERDOCK 安西コーブンドー

19時～27時
不定休

ダンスとラップが交わる『ありか』は即興性の高い作品。

その日の空気や客席の雰囲気を
受け取りながら
動き、音、声、ことばが紡がれていきます。
毎回異なる表情を見せるのも
『ありか』の魅力です。

ダンサー・振付家
島地保武
×
ラッパー
環ROY

初演10周年記念凱旋公演
ありか



ARIKA

9月19日｜土｜14:00 19:00
20日｜日｜16:00
愛知県芸術劇場小ホール

主催・企画・制作・お問合せ 愛知県芸術劇場 TEL:052-211-7552（10:00-18:00）

印刷のことなら何でもご相談ください。

もくもくさん



http://mokumoku.asia

名古屋市瑞穂区 tel 052-852-7611

Free Palestine!



私たちにできること

LES FILMS ESSENTIELS DE LA NOUVELLE VAGUE



女は女である（4K 修復版）
女と男のいる舗道（4K 修復版）
はなればなれに（2K 修復版）
パリところどころ（2K 修復版）

今秋公開
特別鑑賞券（4回券）
4000 円（カード付）発売中！

ナゴヤキネマ・ノイ
NAGOYAKINEMA NEU

小さな映画館から



名古屋シネマテークの支配人平野勇治の遺稿集

平野勇治 著
安住恭子 発行

1650 円（税込）

ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中

たまさかの古本屋 シマウマ書房の日々



鈴木 創 著

2200 円（税込）
亜紀書房／発行

１２月９日発売　各書店にて